

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月8日

【四半期会計期間】 第81期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 塩水港精糖株式会社

【英訳名】 Ensuiiko Sugar Refining Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 浅倉三男

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋堀留町二丁目9番6号

【電話番号】 東京(03)3249局2381(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理グループ長 安戸久仁彦

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋堀留町二丁目9番6号

【電話番号】 東京(03)3249局2381(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理グループ長 安戸久仁彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第80期 第1四半期 連結累計期間	第81期 第1四半期 連結累計期間	第80期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	7,771	7,077	28,258
経常利益 (百万円)	73	174	419
四半期(当期)純利益 (百万円)	20	96	73
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	8	184	660
純資産額 (百万円)	5,645	6,362	6,313
総資産額 (百万円)	25,919	25,518	26,194
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	0.77	3.60	2.73
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	21.8	24.9	24.1

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて、重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の債務問題等の影響が懸念されるものの、デフレからの早期脱却に向けた政府の経済・財政政策や金融政策効果による円安進行などに伴い、エネルギーコストの増加等がありましたが、輸出企業を中心として企業収益が改善し、また株価が上昇するなど、個人消費・景気ともに緩やかに持ち直しつつあります。

当第1四半期連結累計期間の海外原糖市況は、期初17.69セント（ニューヨーク市場粗糖先物相場（期近限月の引け値、1ポンド当たり。）以下同じ。）で始まりましたが、投機筋による買戻しへの期待感から徐々に値を戻し、4月中旬には18.03セントまで上昇しました。その後は主要生産国ブラジルの天候が順調であったことから反落に転じ、さらにブラジルレアルの下落等の材料もあり、6月下旬には16.02セントの安値をつけ、結局16.38セントで当第1四半期連結累計期間を終了しました。

当第1四半期連結累計期間の国内市中価格は、東京市場現物相場（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり。）は期初182～183円で始まり、同一水準のまま当第1四半期連結累計期間を終了しました。

かかる状況の中、当社グループは高品質で安心、安全な製品の安定供給を第一義とし、顧客満足度を一層高めるとともに、価格競争力の一層の向上に努めて参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,077百万円（前年同四半期比8.9%減）、営業利益は185百万円（前年同四半期比200.3%増）、経常利益は174百万円（前年同四半期比136.6%増）、四半期純利益は96百万円（前年同四半期比368.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

砂糖事業

・国内精糖

販売数量につきましては、4～6月は天候に恵まれ業務用を中心に順調な荷動きとなり、前年同四半期を上回りました。売上高につきましては、販売単価は低下しましたが販売数量の増加により前年同四半期並の実績となりました。

・その他糖類

異性化糖などの国内販売については、国内精糖と同様に堅調な荷動きとなりましたが、為替リスク等の軽減を図るため、粗糖の三国間貿易等の海外事業を縮小した結果、売上高は減少いたしました。

この結果、砂糖事業全体の売上高は6,530百万円（前年同四半期比9.0%減）、セグメント利益は411百万円（前年同四半期比42.3%増）となりました。

バイオ事業

・オリゴ糖

家庭用「オリゴのおかげ」は、幅広い利用者層に向けて商品価値の啓蒙と、正しい使い方などの理解普及に努めるとともに、量販店を中心に店頭販促施策に取り組み一定の成果を上げました。

業務用は、新規採用に向けた営業活動に努めました。

・サイクロデキストリン（CDと略称）

飲料、健康食品などの食品分野のほか、非食品分野への拡販に努めましたが、練り製品向けと非食品分野の既存ユーザー向けの販売数量の減少を余儀なくされました。

以上から、当第1四半期連結累計期間は、CD部門における販売数量が減少したことにより、バイオ事業全体の売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は362百万円（前年同四半期比10.9%減）、セグメント利益は42百万円（前年同四半期比34.0%減）となりました。

不動産賃貸事業

関西製糖株式会社への大阪工場設備の賃貸、ニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました。

この結果、売上高は210百万円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント利益は5百万円（前年同四半期比57.9%減）となりました。

研究開発につきましては、肝機能改善などの機能を有するグルクロン酸の新規工業的生産技術のノウハウにつき、継続して第三者への貸与等に努める一方、バイオプラスチック原料となり得るグルカル酸の工業的製造法を確立し、その後、グルカル酸の製法技術に関する応用研究に取り組んでいます。また、抗がん剤「糖修飾パクリタキセル」をリポソームに包み込み、副作用を大幅に軽減し得る「がんミサイル療法」に関しましては、引き続き共同研究開発を進め、本年4月に研究成果を米国がん学会において発表しました。

また、米粉を原料とした乳化機能を有する食品素材の開発につきましては、低コスト・大量生産技術による製法の実用性評価を行いました。今後、商品化に向け鋭意取り組んで参ります。

バイオ製品（オリゴ糖、CDなど）の研究開発につきましては、一層の製造コストの低減と品質の向上に取り組むとともに、新たな機能の開発と探索に努めて参ります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対応すべき課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の総額は、34百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	35,000,000	35,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 単元株式数は100株
計	35,000,000	35,000,000		

(注) 平成25年5月9日開催の取締役会の決議により、定款の一部変更が行われ、平成25年7月1日付で単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		35,000		1,750		345

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 7,890,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
	(相互保有株式) 普通株式 500,000		同上
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,582,000	26,582	同上
単元未満株式	普通株式 28,000		同上
発行済株式総数	35,000,000		
総株主の議決権		26,582	

- (注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式584株が含まれております。
 2 当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年3月31日の株主名簿により記載しております。
 3 平成25年5月9日開催の取締役会の決議により、定款の一部変更が行われ、平成25年7月1日付で単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 塩水港精糖株式会社	東京都中央区日本橋 堀留町2丁目9-6	7,890,000	-	7,890,000	22.54
(相互保有株式) 南西糖業株式会社	東京都千代田区岩本町 3丁目2-9	500,000	-	500,000	1.43
計		8,390,000	-	8,390,000	23.97

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年 6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,414	776
受取手形及び売掛金	2 1,879	2 2,107
商品及び製品	971	1,148
仕掛品	256	182
原材料及び貯蔵品	1,249	951
未収還付法人税等	-	8
繰延税金資産	65	64
その他	1,127	1,115
流動資産合計	6,964	6,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,582	9,592
減価償却累計額	5,062	5,129
建物及び構築物（純額）	4,520	4,463
機械装置及び運搬具	11,166	11,188
減価償却累計額	9,405	9,440
機械装置及び運搬具（純額）	1,761	1,747
工具、器具及び備品	398	399
減価償却累計額	349	354
工具、器具及び備品（純額）	49	45
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	14	23
有形固定資産合計	11,580	11,514
無形固定資産		
ソフトウェア	62	85
ソフトウェア仮勘定	32	-
その他	7	6
無形固定資産合計	102	92
投資その他の資産		
投資有価証券	5,147	5,218
長期貸付金	1,335	1,346
繰延税金資産	982	915
その他	109	106
貸倒引当金	27	28
投資その他の資産合計	7,546	7,558
固定資産合計	19,230	19,164
資産合計	26,194	25,518

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,382	825
短期借入金	9,181	9,858
未払法人税等	54	50
未払消費税等	56	154
賞与引当金	79	39
その他	1,027	1,087
流動負債合計	11,780	12,015
固定負債		
長期借入金	6,411	5,529
退職給付引当金	1,144	1,113
その他	544	496
固定負債合計	8,099	7,139
負債合計	19,880	19,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	266	266
利益剰余金	7,798	7,759
自己株式	3,117	3,117
株主資本合計	6,697	6,659
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	367	284
繰延ヘッジ損益	16	11
その他の包括利益累計額合計	384	296
純資産合計	6,313	6,362
負債純資産合計	26,194	25,518

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	7,771	7,077
売上原価	6,767	5,989
売上総利益	1,004	1,088
販売費及び一般管理費	942	902
営業利益	61	185
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	53	53
デリバティブ利益	20	-
雑収入	7	5
営業外収益合計	92	69
営業外費用		
支払利息	36	35
持分法による投資損失	27	40
支払手数料	16	1
雑損失	0	2
営業外費用合計	80	80
経常利益	73	174
特別利益		
投資有価証券売却益	9	2
特別利益合計	9	2
特別損失		
投資有価証券売却損	3	-
投資有価証券評価損	15	-
その他	3	-
特別損失合計	23	-
税金等調整前四半期純利益	59	176
法人税、住民税及び事業税	24	52
法人税等調整額	14	27
法人税等合計	39	80
少数株主損益調整前四半期純利益	20	96
四半期純利益	20	96

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20	96
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	16	68
繰延ヘッジ損益	5	4
持分法適用会社に対する持分相当額	6	13
その他の包括利益合計	28	87
四半期包括利益	8	184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8	184
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入金に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
太平洋製糖(株)	530百万円	太平洋製糖(株) 492百万円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	5百万円	11百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	196百万円	181百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	135	5.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	135	5.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,173	396	201	7,771	-	7,771
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	10	-	10	10	-
計	7,174	406	201	7,782	10	7,771
セグメント利益	288	64	12	365	303	61

(注) 1. セグメント利益の調整額 303百万円には、セグメント間取引消去 0百万円、各報告セグメントに配分して
いない全社費用 303百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及
び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,525	349	201	7,077	-	7,077
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5	12	8	26	26	-
計	6,530	362	210	7,103	26	7,077
セグメント利益	411	42	5	458	273	185

(注) 1. セグメント利益の調整額 273百万円には、セグメント間取引消去 4百万円、各報告セグメントに配分して
いない全社費用 268百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及
び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	0円77銭	3円60銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	20	96
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	20	96
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,860	26,859

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8 月 8 日

塩水港精糖株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	出 口 賢 二 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	齊 藤 直 人 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	山 口 俊 夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている塩水港精糖株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、塩水港精糖株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。